

民進党千葉県第10区総支部
〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2
TEL0478-54-5678 FAX0478-52-6991
Mail:info@hajime-yatagawa.com



元衆議院議員 谷田川 はじめ

【谷田川はじめプロフィール】

昭和 38年	1月17日香取市に生まれる
56年	千葉県立佐原高校卒業
60年	早稲田大学政治経済学部卒業
同年	丸紅(株)入社
63年	(財)松下政経塾入塾 在塾中、米国連邦下院議員政策 スタッフとして活動
平成 3年	衆議院議員山村新治郎秘書
5年	千葉県議会議員初当選 以後4期連続当選
21年	衆議院議員初当選 拉致問題特別委員会理事 国土交通委員会委員 民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
24年	再選を目指したものの惜敗
26年	返り咲きを目指すもわずか10票で比例区 当選に届かず
【現在】	民進党千葉県第10区総支部長 千葉県ハンドボール協会会長

アベノミクスは信任されたのか？

「1億総活躍プラン」は民進党への擦り寄り

7月10日に実施された参院選挙は、自民・公明の与党に改選議席の過半数を大きく上回る数を与えてしまい、民進党は、敗北を喫してしまいました。特に千葉県選挙区では、民進党が2名の公認候補を擁立しましたが、自民党候補に一位と二位を許してしまい、1議席しか獲得することができませんでした。ご支援頂いた皆様に深く感謝するとともに、ご期待に十分応えられなかったことをお詫び申し上げます。この結果を真摯に受け止め、反省すべきは反省し、次期衆院選に向けて、教訓にしたいと存じます。

去る7月16日、成田九条の会主催による浜矩子氏の講演を成田国際文化会館で聞く機会に恵まれました。同氏は、アベノミクス批判の急先鋒として知られ、その歯に衣着せぬ発言でかなり人気を博しておりますが、先日の講演でもアベノミクスの本質的な問題を明らかにするとともに、わが民進党に対しても叱咤してくれました。その内容を要約すると以下のようになります。

「安倍総理は、参院選の最中『アベノミクスは失敗したわけではない。まだ道半ばだ』と繰り返し言っているところに、失敗感があることを正直に語っている。そして当初は、富裕層や大企業が潤えば国民全体の底上げにつながると思っていた。しかし、それがうまくいかないで、『成長と分配』とか『同一労働 同一賃金』を言い出し、『1億総活躍』と称し、軌道修正している。この時、民進党は『我々が最初から主張していたことが正しくて、自分たちが間違っていたことを認める』と声高に野党としての存在感をアピールするべきだったのに、争点つぶしされて困ったと言っているようではダメだ」

確かに浜氏が指摘するように、安倍政権が我々の主張に擦り寄ってきた際に、もっと存在感をアピールすべきだったと私も同感です。まさに「1億総活躍プラン」はアベノミクスの失敗をごまかすために編み出されたと言っても過言ではないと思います。以下にその具体例を簡潔にまとめました。

アベノミクスの失敗をごまかす「1億総活躍プラン」

民進党の提案	給付型奨学金を創設する予算の組み替え	介護職員の給料を月額1万円引き上げる法案	「同一価値労働同一賃金」の確立	長時間労働を規制する法案	保育士等の給料を月額5万円引き上げる法案
与党の対応・1億総活躍プラン	↓ 反対したにもかかわらず、給付型奨学金の創設を「検討」と発表	↓ 反対したにもかかわらず、介護職員の給料を月額「1万円」引き上げたと同じ内容を発表	↓ 法案を「提出」と発表したが、中身は不明。しかも提出は2年後の見込み	↓ 審議すらしなかったのに残業時間の規制を「再検討」と発表	↓ 審議すらしなかったのに保育士の給料を月額「2%」(約6千円)引き上げると発表

以上のように、与党は民進党案に反対しておきながら、「1億総活躍プラン」では民進党案をまねたり、それを後退させた内容を提案しています。さらには、民進党には対策がないと、うそぶく始末。まさに、アベノミクスの失敗をごまかす、選挙対策のパフォーマンスでしかありません。